

1. 単元目標

- ・家族の呼称や、丁寧に注文や値段を尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりすることができる。また、簡単な語句を書き写すことができる。(知識及び技能)
- ・丁寧に注文を尋ねたり答えたりして、自分の考えを伝え合ったり、簡単な語句を推測しながら読んだりする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、丁寧に注文を尋ねたり答えたり、メニューについてまとまりのある話を聞いたり、感想を伝え合ったりしようとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

- What would you like? I'd like (spaghetti). It's for (my brother). This is for (my brother). How much? It's (970 yen). Here you are. Thank you.
- 飲食物 (curry and rice, French fries, fried chicken, grilled fish, radish, broccoli, mineral water, parfait, bread, drink, soda pop, green tea, beefsteak, rice, yogurt), 家族 (father, mother, sister, brother, grandfather, grandmother), busy, enjoy, would, special, healthy, menu, meal, restaurant, dessert, main, side, 数 (seventy, eighty, ninety, hundred), vest, wolf
[既出] 果物・野菜, 飲食物, 状態・気持ち, 数 (1~60)

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。

4. 単元計画 (8時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【】 , ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆家族の呼称や、丁寧に注文を尋ねたり答えたりする表現が分かる。</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.58, 59 ③⑤⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の様々な名物料理に関する映像資料を視聴し、世界には様々な食生活があることを知る。 ・聞き取れたことを発表する。 <p>【Let's Watch and Think 2】 p.60</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物が料理を注文する場面を見て、食べ物や家族の言い方について知る。 <p>【Jingle】 Foods Jingle p.59 (p.79)</p> <p>○ポイントイング・ゲーム(食べ物)</p> <p>【Let's Listen 1】 p.61</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、こうせいの両親が何を選んだかを聞き取り、人物と食べ物を線で結ぶ。 ・Let's Watch and Think 2 で視聴した場面での表現との違いについて、分かったことや気付いたことを発表する。 <p>【Let's Chant】 What would you like? p.61</p> <p>○Sounds and Letters ① (p)</p>	◎家族の呼称や丁寧に注文する表現が分かり、線で結んでいる。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検>
2	<p>◆丁寧に注文を尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>○Small Talk : 好きな食べ物</p>	

	<p>・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.58, 59 ①②</p> <p>・世界の様々な名物料理について映像資料を視聴し、世界には様々な食生活があることを知る。</p> <p>○レストランで注文しよう。</p> <p>・指導者の質問に対して、欲しいものを言う。(こうせいと Chef の場面 : Dessert)</p> <p>【Let's Chant】 What would you like? p.61</p> <p>○注文しよう。</p> <p>・指導者の質問に対して、欲しいものを言う。(こうせいの両親と Chef の場面 : Soup, Salad)</p> <p>・ペアで、Chef と客になって、児童用テキスト p.60, 61 のレストラン場面で注文を尋ねたり答えたりする。</p> <p>【Let's Listen 2】 p.60</p> <p>・音声を聞いて、こうせいの祖母が注文したものを聞き取り、Main dish, Side dish, Dessert のそれぞれの枠に記入する。</p> <p>・値段の会話で聞き取れた語を発表する。値段の尋ね方や 100 以上の数字の言い方を知る。</p>	<p>◎丁寧に注文を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆値段を尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>【Jingle】 Foods Jingle p.59 (p.79)</p> <p>【Let's Chant】 What would you like? p.61</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.58, 59 ④⑥</p> <p>・世界の様々な名物料理について映像資料を視聴し、世界には様々な食生活があることを知る。</p> <p>・指導者の質問に答え、食べ物に関する感想の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>【Let's Listen 2】 p.60</p> <p>・前回聞いたこうせいの祖母のレストランでのやり取りを再度聞く。聞き取った値段を枠内に記入する。</p> <p>○Buzz Game</p> <p>○注文しよう。</p> <p>・ペアで、Chef、レジ係と客になって、児童用テキスト p.64, 65 のレストラン場面で注文を尋ねたり値段を尋ねたり、それに答えたりする。</p> <p>○Sounds and Letters ② (s)</p>	<p>◎値段を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆丁寧に注文や値段を尋ねたり答えたりできる。</p> <p>○Small Talk : 飲みたいもの</p> <p>・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。</p> <p>【Let's Chant】 What would you like? p.61</p> <p>【Let's Listen 3】 p.61</p> <p>・音声を聞いて登場人物の注文したものを聞き取り、その料理の値段も聞き取って記入する。</p> <p>○Buzz Game</p> <p>・数の言い方でゲームをする。</p> <p>○ペアで注文し合おう。</p> <p>・ペアになり、1人がレストランスタッフ、もう1人が客になって、互いに欲しい食べ物を注文したり、値段を尋ねたりする。</p> <p>○デスティニー・ゲーム</p> <p>○Sounds and Letters ③ (b)</p>	<p>◎注文に丁寧に答えているのを聞いたり、値段を聞き取って記入したりしている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎丁寧な表現で注文や値段を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
	<p>◆丁寧な表現で注文や値段を尋ねたり答えたりする。</p>	

5	<p>◆音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものの意味が分かり、書き写すことができる。</p> <p>【Jingle】 Foods Jingle p.59 (p.79) 【Let's Chant】 What would you like? p.61 ○先生の作ったメニューセットを知ろう。 ・指導者が紹介するメニューセットの話を聞いて誰のためにどうしてそのようなメニューを作ったのかを聞き取る。 ○店ごとに集まり、メニューの値段を考えたり、客と店員に分かれて注文したりする。 ・グループの中で、ペアで、注文や値段を尋ねたり答えたりして、児童用カードを渡す。 【Let's Listen 4】 p.62 ・だれのためにどんなメニューを考えたのかを聞き取り、線で結ぶ。 ○Let's Read and Write ① ・誰のためのセットにするか決め、家族の呼称をワークシートに、児童用カードに記された単語を見ながら書く。 ○ワードサーチ ・隠された食べ物の名前を探す。 ・自分でワードサーチを作る。</p>	<p>◎丁寧な表現で注文や値段を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎家族の呼称の単語の意味が分かり、書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
6	<p>◆他者に配慮しながら、丁寧に注文したり受けたりしようとする。</p> <p>○Small Talk：宅配ピザの注文の仕方 ・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 【Jingle】 Foods Jingle p.59 (p.79) 【Let's Chant】 What would you like? p.61 【Let's Listen 5】 p.62 ・Let's Listen 4 のメニューを再度聞き、その値段を聞き取って記入する。 【Activity】 p.64 ・グループで客と店員に役割分担をして、注文や値段を尋ねたり答えたりして、必要な食べ物をそろえる。</p>	<p>◎他者に配慮しながら、丁寧な表現を使って注文したり受けたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
7	<p>◆他者に配慮しながら、丁寧な表現を使って注文をしたり受けたりしようとする。</p> <p>◆音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを推測して読み、書き写すことができる。</p> <p>【Jingle】 Foods Jingle p.59 (p.79) 【Let's Chant】 What would you like? p.61 【Activity】 p.64 ・前時に続き、グループで客と店員に役割分担をして、注文や値段を尋ねたり答えたりして、必要な食べ物をそろえる。 ○Let's Read and Write ② ・英語のメニューを見て、情報を読み取り、注文した料理（メインディッシュ・サイドディッシュ・デザート・ドリンク）の単語を選択して書く。 ・誰のためのどんなメニューにするのかネーミングを考える。</p>	<p>◎他者に配慮しながら、丁寧な表現を使って注文したり受けたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎メニュー表の料理名を推測して読んでいる。注文した料理を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
8	<p>◆他者に配慮しながら、メニューについてまとまりのある話を聞いたり、感想を伝え合ったりしようとする。</p> <p>【Jingle】 Foods Jingle p.59 (p.79) 【Let's Chant】 What would you like? p.61 【Let's Listen 4】 p.62 ・再度、登場人物が注文した料理を確認し、それは誰のためにどんな理由で取りそろえたメニューなのかを話している音声聞く。 ○自分の考えたスペシャルメニューについて発表する。 ・グループになり、誰のためのどんなメニューなのかを発表し合う。 ・グループの中から代表発表者を決める。代表発表者は、全員の前で発表し、ほかの児童は感想を言ったり質問をしたりする。 【STORY TIME】 p.63 ・絵本の読み聞かせを聞いたり、読んだりする。</p>	<p>◎他者に配慮しながら、メニューについて相手の話を聞き、質問したり、感想を伝えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

5年 Unit 8—Lesson 1 単元名 What would you like? 料理・値段 1/8時間
目 標 家族の呼称や、丁寧に注文を尋ねたり答えたりする表現が分かる。
準 備 児童用テキスト、教師用カード（飲食物、家族、大文字・小文字）、ワークシート（Unit 8-4）デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
15分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <p>【Let's Watch and Think 1】 p.58,59 ③⑤⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の様々な名物料理に関する映像資料を視聴し、世界には様々な食生活があることを知る。 ・聞き取れたことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・あらかじめ誌面を見る時間を取り、どんな国や料理があるかを確認してから、視聴するとよい。 ・①～⑦の7種類の映像のうち、児童にあまりなじみがない、また、知ってはいるが新たな発見があるようなものとして、③ Kebab: Turkey, ⑤ Curry: India, ⑦ Escargot: France を視聴させる。こうすることで、本単元の題材である料理、食事に興味・関心をもたせるようにする。 ・聞き取れた内容を共有する。すべての意味を理解させる必要はない。ここでは、本単元の題材である食事や食べ物に興味をもたせることがねらいである。自分たちとは異なる食文化に興味をもち、例えばカタツムリを食べることを否定するのではなく、世界から見れば、タコを食すことが意外と思う国もあることなど、それぞれの国によって違いがあり、食文化が成り立っていることが感じられるとよい。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>③ “Kebab” is roasted chicken, lamb or beef. In Turkey it’s called “doner kebab.” They slice the meat and eat with pita bread. You can make kebab sandwiches.</p> <p>⑤ Curry is a very popular food around the world. Curry and nan originally come from India. In India they use so many spices. They have special flavors. You can eat many kinds of curry. For example, vegetable, chicken, beef or seafood.</p> <p>⑦ In France people enjoy eating “escargot” or snails. They are cooked with butter and herbs. It’s delicious and very popular. Do you want to try it?</p>			
	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.60</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物が料理を注文する場面を見て、食べ物や家族の言い方について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴する際には、途中で区切らず流し、概要を捉えられるようにする。 ・外国語活動で学習した I want ~. の表現を思い出せるようにし、児童の発表から意味を共有する。 ・児童と一緒に聞き取れたことや繰り返し出てきた表現などについて確認し、食べ物や家族を表す語句を絵カードで提示し、後に続いて一緒に言うよう促す。 	教師用カード (飲食物、家族)
<p>こうせい : Wow, nice sweets! Cake, ice cream, fruits, parfait, and <i>daiifuku</i>. They look so yummy. I want ... fruits and a parfait. Ice cream for my grandmother and grandfather.</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> ・誌面にあるもの以外で、英語で知っている食べ物の言い方を発表させ、次のジングルにつなげる。 	
4分	<p>【Jingle】 Foods Jingle p.59 (p.79)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Foods Jingle を聞く。聞き取れた食べ物を発表する。 ・音に注意しながら文字の名称を言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Foods Jingle を聞くことを告げ、どのような食べ物が聞こえたかを聞き取るよう促す。デジタル教材を視聴させる際、最初は、画面を見せずに、音声のみを聞かせる。 	デジタル教材 児童用テキスト

	<p>・そのほかの部分で言えるところは一緒に言う。</p>	<p>デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンネル・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Foods」</p>	
<p>3分</p>	<p>○ポインティング・ゲーム(食べ物)</p> <p>・ペアで、1冊の児童用テキストを中央に置いて行う。指導者が発音する食べ物を児童用テキスト誌面から探して指さす。</p>	<p>・本活動のねらいは、食べ物を何度も聞いたり繰り返し言ったりすることであることから、テンポよく言うようにする。</p> <p>・互いに支援し合えるようにペアで行うが、児童の実態によって、グループや個人で行うこともできる。</p>	<p>教師用カード (飲食物) 児童用テキスト</p>
<p>8分</p>	<p>【Let's Listen 1】 p.61</p> <p>・音声を聞いて、こうせいの両親が何を選んだかを聞き取り、人物と食べ物を線で結ぶ。</p> <p>・Let's Watch and Think 2で視聴した場面での表現との違いについて、分かったことや気付いたことを発表する。</p>	<p>・最初に音声を聞かせる際に、「何をしているところか」をまず聞き取るよう指示する。音声は途中で区切らず聞かせ、概要を捉えられるようにする。</p> <p>・どのような場面で何をしているところかを考えることで、Let's Watch and Think 2で視聴した場面との違いや、英語にも場面に応じた丁寧な言い方があることに気付くようにし、気付いたことなどを発表するよう促す。</p> <p>・次に、どんなも食べ物を注文しているか、誰が、誰のために、という視点で聞き、誌面に線を引くように言う。</p> <p>・児童と一緒に聞き取れたことや繰り返し出てきた表現などについて確認する。</p> <p>・Let's Watch and Think 2で聞こえた人物も含めて、誌面に出てくる登場人物を整理しながら、聞き取った家族の呼称の言い方を言うよう促す。</p> <p>This is Kousei's ...? Mother, that's right. This is Kousei's grand...? Grandmother, very good.</p> <p>・家族の呼称を何度も言い、どの児童にも分からせるようにする。</p>	<p>デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (飲食物、家族)</p>
<p>シェフ：Hello, what would you like? 母：Hello. Ummm シェフ：Corn soup, potato soup, carrot soup and <i>miso</i> soup. The potato soup is cold, not hot. What would you like? 母：I see. Everything looks so delicious. I'd like carrot soup for me and corn soup for my mother and my father. シェフ：OK. Carrot soup for you. Corn soup for your mother and father. Here you are. 母：Thank you very much. 父：I love vegetables. I want lettuce, carrots, and corn. I want Italian dressing on my salad.</p>		<p>◎家族の呼称や丁寧に注文する表現が分かり、線で結んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	

5分	<p>【Let's Chant】 What would you like? p.61</p> <p>・チャンツの言える部分だけを言う。</p>	<p>・まず児童と一緒に聞きリズムや音を確認してから、ゆっくりバージョンから始めるようにする。</p>	デジタル教材
<p>What would you like? What would you like? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like grilled fish. I'd like grilled fish. I'd like grilled fish for me, please.</p> <p>How about your father? How about your father? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like beefsteak. I'd like beefsteak. I'd like beefsteak for my father, please.</p> <p>How about your mother? How about your mother? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? Umm ..., I'd like fruits. I'd like fruits for my mother, please.</p>			
5分	<p>○Sounds and Letters ① (p)</p> <p>・示されたアルファベットの文字カードを見てみんなでその名称と音を確認し、どんな食べ物があるかを考え、発表する。</p> <p>P, P, /p/p/ _____</p>	<p>・アルファベットの文字カードを示し、その名称と音を確認し、アルファベットの文字の音で始まる食べ物にどのようなものがあるかを考えるよう促す。</p> <p>P, P, /p/p/ _____</p> <p>例: pizza, parfait, popcorn, pudding, pineapple, pie</p>	デジタル教材 教師用カード (大文字・小文字) ワークシート (Unit 8-4)
5分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 8—Lesson 2 単元名 What would you like? 料理・値段 2/8時間
目 標 丁寧に注文を尋ねたり答えたりすることができる。
準 備 好きな食べ物の写真やイラストなど (Small Talk 用), 児童用テキスト, 児童用カード (飲食物), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
15分	<p>・挨拶をする。</p> <p>○Small Talk : 好きな食べ物</p> <p>・指導者の話を, 反応を示したり, 質問について考えたり答えたりしながら聞く。</p>	<p>・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。</p> <p>・好きな食べ物について話す。一方的に話すのではなく, 児童を会話に巻き込みながら話すようにする。</p>	好きな食べ物の写真やイラストなど
	<p>Small Talk の例</p> <p>T: I like pizza. What food do you like?</p> <p>I like pizza very much. I like cheese very much. Pizza is very delicious.</p> <p>Do you like pizza? Yes? Good.</p> <p>What kind of pizza do you like? Seafood pizza? Mushroom pizza? Margherita?</p> <p>I especially like 'quattro formaggi'. It's very delicious.</p> <p>The topping has four kinds of cheese and honey. Mm... yummy!</p> <p>Do you want to try it?</p>		
	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.58, 59 ①②</p> <p>・世界の様々な名物料理について映像資料を視聴し, 世界には様々な食生活があることを知る。</p>	<p>・①～⑦の7種類の映像のうち, 前時に視聴しなかった①②の2種類を視聴させる。①Fish and Chips: Australia, ②Kimchi, Kimbap: Korea は, 児童の日常生活でも耳にしたり, 食べたりしたことがある食べ物である。食べ物など様々な文化も国境を越えていることを感じ取らせたい。</p> <p>・聞き取れた内容を共有する。すべての意味を理解させる必要はない。ここでは, 本単元の題材である食事, 食べ物に興味をもたせるとともに, それぞれの国によって違いがあり, 食文化が成り立っていることが感じられるとよい。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>① They are fish and chips. It's deep fried fish with fried potatoes. You eat them with salt, vinegar or lemon juice.</p> <p>② "Kimchi" is Korean pickled Chinese cabbage. It's red. It's spicy and hot. "Kimbap" is like Japanese <i>norimaki</i>. You roll rice, vegetables and some meat with seaweed.</p>		
20分	<p>○レストランで注文しよう。</p> <p>・指導者の質問に対して, 欲しいものを言う。(こうせいと Chefの場面: Dessert)</p> <p>【Let's Chant】 What would you like? p.61</p> <p>・言えるところから言う。</p>	<p>・デジタル教材で Let's Watch and Think 1 のレストランの場面 (映像ではなく, 誌面のイラスト) を画面に映し出す。レストラン場面であり, 自身が Chef で児童が客という設定であること告げて, 全体に What would you like?と尋ねた後, 数名の児童に尋ね, 前時の学習内容を思い出させる。児童の答えに応じて, 画面の食べ物をクリックし, 発音を聞かせる。I'd like ~.と答えるよう促す。</p> <p>・児童が思い出したところで, チャンツを一緒に言う。チャンツを通して, レストランの場面での注文を尋ねたり注文をしたりする際の表現を何度も聞かせたり言わせたりすることがねらい。</p>	デジタル教材 児童用テキスト デジタル教材

	<p>What would you like? What would you like? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like grilled fish. I'd like grilled fish. I'd like grilled fish for me, please.</p> <p>How about your father? How about your father? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like beefsteak. I'd like beefsteak. I'd like beefsteak for my father, please.</p> <p>How about your mother? How about your mother? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? Umm ..., I'd like fruits. I'd like fruits for my mother, please.</p>		
<p>7分</p>	<p>【Let's Listen 2】 p.60</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声聞いて、こうせいの祖母が注文したものを聞き取り、Main dish, Side dish, Dessert のそれぞれの枠に記入する。 値段の会話で聞き取れた語を発表する。値段の尋ね方や100以上の数字の言い方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で Let's Listen 1 のレストランの場面を画面に大きく映し出す。レストランの場面であり、自身が Chef で児童が客という設定であることを告げて、全体に What would you like? と尋ねた後、数名の児童に尋ね、児童の答えに応じて、画面の食べ物をクリックし、発音を聞かせる。 慣れてきたら、他の児童も一緒に尋ねるよう促す。 ペアで、Chef と客になって、Dessert, Drink, Soup, Salad それぞれに欲しいものを尋ねたり、答えたりするよう指示する。 ◎丁寧に注文を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 	<p>児童用テキスト デジタル教材 児童用カード (飲食物)</p> <p>デジタル教材 児童用テキスト</p>
<p>3分</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	<p>振り返りカード</p>

ウェイター : Hello, what would you like?
You can order a main dish, a side dish and a dessert.
What would you like for your main dish?

祖母 : Ummm, I'd like fried chicken and an omelet on the side.
I'd like fruit for dessert.

ウェイター : OK, fried chicken, an omelet and fruit.

祖母 : How much is this?

レジ係 : The fried chicken is 400 yen. The omelet is 300 yen.
The fruit is 280 yen. 980 yen, please.

祖母 : OK, here you are.

レジ係 : Thank you.

<p>5年 Unit 8—Lesson 3 単元名 What would you like? 料理・値段 3/8時間</p> <p>目 標 値段を尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>準 備 児童用テキスト, 教師用カード (食べ物, 家族, 数字, 大文字・小文字), 料理の写真など, ワークシート (Unit 8-3, 8-5, 8-8), デジタル教材, 振り返りカード</p>

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
8分	<p>・挨拶をする。</p> <p>【Jingle】 Foods Jingle p.59 (p.79)</p> <p>・ジングルを言う。</p> <p>・ワークシートに聞こえた最初の小文字を書く。(5文字)</p> <p>【Let's Chant】 What would you like? p.61</p> <p>・チャンツを言う。</p>	<p>・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。</p> <p>・映像を見ながら, ジングルをみんなで2, 3回言う。</p> <p>・ジングルを思い出して, ワークシートにある食べ物の最初の小文字を書くように促す。ワークシート下の食べ物の絵・アルファベットの文字の部分は折り曲げて, 見ずに文字を書かせることも考えられる。また, 右の4線には, 児童の実態に応じて, 5種類の小文字を複数書いたり, 左の食べ物の単語を書き写したりさせるとよい。</p> <p>・児童の実態に応じて, スピードを選ぶ。</p> <p>・食べ物の名前や家族を児童自身が選ぶと, 繰り返し言う際の動機付けとなる。</p>	<p>デジタル教材 教師用カード (飲食物) ワークシート (Unit 8-8)</p> <p>デジタル教材 教師用カード (食べ物, 家族)</p>
	<p>デジタル教材:「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Foods」</p>	<p>What would you like? What would you like? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like grilled fish. I'd like grilled fish. I'd like grilled fish for me, please.</p> <p>How about your father? How about your father? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like beefsteak. I'd like beefsteak. I'd like beefsteak for my father, please.</p> <p>How about your mother? How about your mother? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? Umm ..., I'd like fruits. I'd like fruits for my mother, please.</p>	
5分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.58, 59 ④⑥</p> <p>・世界の様々な名物料理について映像資料を視聴し, 世界には様々な食生活があることを知る。</p> <p>・指導者の質問に答え, 食べ物に関する感想の言い方に慣れ親しむ。</p>	<p>・①～⑦の7種類の映像のうち, これまでに視聴しなかった④⑥の2種類を視聴させる。④Fruits juice: Hawaii, ⑥Pirozhki: Russia は, 児童の日常生活でも耳にしたり, 食べたことがある食べ物である。</p> <p>・ただ視聴するのではなく, 指導者は, It's delicious / yummy / healthy. などと食べ物の感想を入れる。子供がよく食べている料理の絵カードや写真を見せ, Do you like ~? It's delicious / yummy / healthy? などと問いかけ, 食べ物に関する感想の表現の仕方に慣れさせるようにする。また, It's delicious / yummy / healthy. と自ら言うよう促す。</p>	<p>教師用カード (飲食物) 料理の写真など</p>
	<p>④ You can eat many tropical fruits in Hawaii. You can enjoy pineapple juice, guava and mango juice, too. They are fresh and good for your health.</p> <p>⑥ "Pirozhki" is from Russia. It's a kind of fried bread. It has meat and vegetables inside. Look at this Russian stew. It's called "borscht" or red soup. They put cabbage, sausages and red beets in it.</p>	<p>*写真を映し出す際には, デジタル教材の「教材どうぐばこ」→「ツール」→「画像読み込み」を活用するとよい。</p>	

7分	<p>【Let's Listen 2】 p.60</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回聞いたこうせいの祖母のレストランでのやり取りを再度聞く。聞き取った、値段を枠内に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回この活動では、注文したものを聞き取り、値段については、触れるだけであった。今回は、値段を聞き取り、枠に記入するよう告げる。 ・値段の聞き方、答え方を確認する。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>ウェイター：Hello, what would you like? You can order a main dish, a side dish and a dessert. What would you like for your main dish?</p> <p>祖母：Ummm, I'd like fried chicken and an omelet on the side. I'd like fruit for dessert.</p> <p>ウェイター：OK, fried chicken, an omelet and fruit.</p> <p>祖母：How much is this?</p> <p>レジ係：The fried chicken is 400 yen. The omelet is 300 yen. The fruit is 280 yen. 980 yen, please.</p> <p>祖母：OK, here you are.</p> <p>レジ係：Thank you.</p>			
7分	<p>○Buzz Game</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでワークシートを見ながら活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの前に、これまでに学習した数字（1～60）の言い方をもとに、それらに続く数（70, 80, 90, 100, 110 ～）の言い方を類推するよう促し、児童の発表により確認する。指導者の後について一緒に言う。特に100以降の数については丁寧に指導をする。 ・進め方の例を示す。 ・このゲームのねらいは、数の言い方に慣れさせることである。児童の実態により、数字の一覧表を準備すると、支援の必要な児童もゲームがしやすい。 	教師用カード （数字） ワークシート （Unit 8-3）
<p>Buzz Game の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで数字を言って行く。1人が言えるのは、1～3つの連続した数字。Buzz Number を言った人が負ける。次は Buzz Number を言った人から始める。まずは、60から200で全グループ行う。 例：S1: 60, 70, 80 S2: 90, 100 S3: 110, 120, 130 S4: 140, 150, 160 S1: 170, 180 190, S2: 200 (Buzz!) ・2回目のスタートは、Buzz になった人から始める。 			
10分	<p>○注文しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで、Chef, レジ係と客になって、児童用テキスト p.64, 65 のレストラン場面で注文を尋ねたり値段を尋ねたり、それに答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童用テキスト p.64, 65 のメニュー表にある料理の値段を児童に尋ね、学級でそれぞれの料理に値段を付ける。値段の尋ね方を十分聞かせ、児童に値段を言わせることがねらいである。 ・前時とは違う人とペアになり、注文を尋ねたり値段を尋ねたり、それに答えたりするよう言う。 ◎値段を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 	児童用テキスト
5分	<p>○Sounds and Letters ② (s)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・示されたアルファベットの文字カードを見てみんなでその2種類の読み方、名称と音を確認し、どんな食べ物があるかを考える。 <p>S, S, /s/ s/ _____</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの文字カードを示し、その読み方を一緒に確認し、その音で始まる食べ物を尋ねる。 <p>S, S, /s/ s/ _____</p> <p>例: sausage, salad, spaghetti, sandwich, strawberry, soup</p>	デジタル教材 教師用カード （大文字・小文字） ワークシート （Unit 8-5）
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 8—Lesson 4 単元名	What would you like?	料理・値段	4/8時間
目 標	丁寧に注文や値段を尋ねたり答えたりできる。		
準 備	飲みたい物やその写真 (Small Talk 用), 児童用テキスト, 教師用カード (飲食物, 家族), 児童用カード (飲食物), ワークシート (Unit 8-3, 8-6), デジタル教材, 振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 飲みたい物</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を, 反応を示したり, 質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 指導者の飲みたい物について話す。一方的に話すのではなく, 児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	飲みたい物やその写真, 教師用カード (飲食物)
	<p>Small Talk の例</p> <p>T : What would you like to drink? Coffee, orange juice, apple juice, or tea? What would you like? How about you, S1? S1: I'd like apple juice. T : Oh, you'd like apple juice. Good. How about you, S2? S2: Water. T : OK. You'd like a glass of water. T : (自分を指さしながら) Me, I'd like juice. I like juice very much. What kind of juice would you like? Apple juice? Orange juice? Grape juice? (果物の絵カードを示す) I like peach juice. I like peaches very much. It's delicious.</p>		
3分	<p>【Let's Chant】 What would you like? p.61</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態に応じて, スピードを選ぶ。 食べ物や家族の呼称を児童自身が選び, カラオケで実施することで, 児童のやる気を喚起することも考えられる。 	デジタル教材
	<p>What would you like? What would you like? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like grilled fish. I'd like grilled fish. I'd like grilled fish for me, please.</p> <p>How about your father? How about your father? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like beefsteak. I'd like beefsteak. I'd like beefsteak for my father, please.</p> <p>How about your mother? How about your mother? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? Umm ..., I'd like fruits. I'd like fruits for my mother, please.</p>		
8分	<p>【Let's Listen 3】 p.61</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞いて登場人物の注文したものを聞き取り, その料理の値段も聞き取って記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の祖母の注文を確認した後, 祖父がどのようなものを注文しそうかを予想したり, その値段を予想したりしてから視聴することで, 聞きたい気持ちを高めてから視聴するとよい。 会話形式で丁寧な言い方で料理を注文したり, レジでお金を払ったりする映像資料を視聴し, 具体的な情報を聞き取ることがねらい。また, 値段の尋ね方, 答え方を確認する。 	デジタル教材 教師用カード (飲食物, 家族) 児童用テキスト
	<p>ウェイター : What would you like for your main dish? 祖父 : I'd like a beefsteak and salad on the side. I'd like <i>daifuku</i> for dessert. ウェイター : OK, a beefsteak, salad and <i>daifuku</i>. 祖父 : Thank you. 祖父 : How much is this? レジ係 : The beefsteak is 600 yen. The salad is 250 yen. The <i>daifuku</i> is 120 yen. 970 yen, please. 祖父 : OK, here you are. レジ係 : Thank you.</p>		

		◎注文に丁寧に答えているのを聞いたり、値段を聞き取って記入したりしている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	
5分	<p>○Buzz Game</p> <p>・数の言い方を思い出し、指導者の後について繰り返し言う。グループでゲームをする。</p>	<p>・前時に行ったゲームをする。その前に、数の言い方を全員で確認する。(1~60, 70, 80, 90, 100, 110 ~ 990)</p>	<p>ワークシート (Unit 8-3)</p>
<p>Buzz Game の進め方</p> <p>・グループで数字を言って行く。1人が言えるのは、1~3つの連続した数字。Buzz Number を言った人が負ける。次は Buzz Number を言った人から始める。まずは、60から200で全グループ行う。 例：60-200 S1: 60, 70, 80 S2: 90, 100 S3: 110, 120, 130 S4: 140, 150, 160 S1: 170, 180 190, S2: 200 (Buzz!) 2回目のスタートは、Buzz になった人から始める。</p>			
16分	<p>○ペアで注文し合おう。</p> <p>・ペアになり、1人がレストラスタッフ、もう1人が客になって、互いに欲しい食べ物を注文したり、値段を尋ねたりする。誌面 p.64, 65 のメニュー表を見ながら行う。注文に応じて児童用カード(飲食物)を客に渡す。</p> <p>○デスティニー・ゲーム</p> <p>・グループでデスティニー・ゲームを行う。</p>	<p>・第2, 3時と違う人とペアになり、p.64, 65 のメニュー表を見ながら欲しい食べ物を注文し、値段を言い合うよう指示する。</p> <p>・違うペアで複数回同様に行わせる。児童の発話の状況を観察し、次の活動につなげる。</p> <p>◎丁寧な表現で注文や値段を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>・デスティニー・ゲームの進め方の例を示し、グループで行わせる。指導者の注文を聞いて、It's~. で感想を言うように促す。</p>	<p>児童用テキスト 児童用カード (飲食物)</p>
<p>デスティニー・ゲームの進め方</p> <p>3~4人のグループになる。食べ物カードをシャッフルし、各自同数になるように配布し、裏返して机上に置く。</p> <p>Ss: What would you like? T: I'd like pizza. (食べ物を言う。) S1, 2, 3 (pizza のカードを持っている児童): You'd like pizza. (カードを出す) <u>It's delicious / yummy / nice / good.</u> (下線部分は自分で考えて言う。)</p> <p>T: How much? S1: 650 yen, please. / S2: 700 yen, please. / S3: 800 yen, please. (自分で考えて適当と思う値段を答える。) T: OK. Here you are. (お金を支払うジェスチャーをする) S1: Thank you. T: (One, two. / Ready go. と声をかけたり、カスタネットやタンバリンを2度鳴らすなどして合図を出す。) S123: What would you like? T: I'd like ... (食べ物を言う。) (同様に続ける。)</p>			
5分	<p>○Sounds and Letters ③ (b)</p> <p>・示されたアルファベットの文字カードを見てみんなでその名前読みと音を確認し、どんな食べ物があるか考える。 B, B/b/, /b/ _____</p>	<p>・アルファベットの文字カードを示し、その名称読みと音と一緒に確認し、どんな食べ物があるか考え発表するよう促す。 〈例〉 bed, book, bat, bag, boots, bear など</p>	<p>ワークシート (Unit 8-6)</p>
3分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p>

5年 Unit 8—Lesson 5 単元名	What would you like?	料理・値段	5/8時間
目 標	丁寧な表現で注文や値段を尋ねたり答えたりする。		
準 備	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものの意味が分かり、書き写すことができる。 児童用テキスト、教師用カード（食べ物：egg, donut, jam, fish, salad）、児童用カード（食べ物、家族）、ワークシート（Unit 8-1, 8-7）、デジタル教材、振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 [Jingle] Foods Jingle p.59 (p.79) Foods Jingle を聞く。 音に注意しながら文字の名称を言う。 ジングルをみんなで言ったあと、ペアで1つのチャート（児童用テキスト巻末）を使って交代で言う。 [Let's Chant] What would you like? p.61 チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 音に注意しながら文字の名称を言う。 ジングルをみんなで言ったあと、ペアで1つのチャート（児童用テキスト巻末）を使って交代で言わせるとよい。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> デジタル教材は 「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Foods」 </div> <ul style="list-style-type: none"> 児童の実態により、スピードを選ぶ。 食べ物や家族の呼称を児童自身に選ばせ、カラオケで実施することで、児童のやる気を喚起することも考えられる。 	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード（飲食物） デジタル教材
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>What would you like? What would you like? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like grilled fish. I'd like grilled fish. I'd like grilled fish for me, please.</p> <p>How about your father? How about your father? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like beefsteak. I'd like beefsteak. I'd like beefsteak for my father, please.</p> <p>How about your mother? How about your mother? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? Umm ..., I'd like fruits. I'd like fruits for my mother, please.</p> </div>			
17分	<ul style="list-style-type: none"> ○先生の作ったメニューセットを知ろう。 ・指導者が紹介するメニューセットの話を聞いて、誰のためにどうしてそのようなメニューを作ったのかを聞き取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者は、あらかじめ自身の家族などの身の回りの誰かのためにメニューを考えておく。代表児童を Chef 役とレジ係役にし、メニューをみんなの前で作り、そのようなメニューにした理由も伝える。 ・この活動のねらいは、児童に単元終末の活動の見通しをもたせることである。 	教師用カード（飲食物）
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>やり取りの例</p> <p>S1: What would you like?</p> <p>T : I'd like grilled fish, rice, salad and miso soup for my brother.</p> <p>S1: Ok, grilled fish, rice, salad and miso soup. Here you are. What would you like?</p> <p>T : I'd like</p> </div>			
	<ul style="list-style-type: none"> ○店ごとに集まり、メニューの値段を考えたり、客と店員に分かれて注文したりする。 ・客のつもりになって、指導者の質問に答えたり、値段を尋ねたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元終末の活動に向けて、グループで準備をするよう言う。 ・次時の活動で料理を取りに行くことへの意欲を高めるために、児童用テキスト p.64 のように、クロスの様を工夫したり、料理をのせるお盆や皿、コースターの絵を描いたりすることも考えられるが、作成の時間に 	児童用テキスト 児童用カード（飲食物）

5年 Unit 8—Lesson 6 単元名	What would you like?	料理・値段	6/8時間
目 標	他者に配慮しながら、丁寧に注文したり受けたりしようとする。		
準 備	児童用テキスト、教師用カード(飲食物)、児童用カード(飲食物)、ワークシート (Unit 8-2)、デジタル教材、振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
13分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk：宅配ピザの注文の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	教師用カード (飲食物)
	<p>Small Talk の例</p> <p>T : Do you like pizza? S1: Yes!! I like pizza. S2: So so. T : When you order a pizza delivery, you can use this phrase. What would you like? I'd like ~. (ピザ屋のような感じで電話を受ける役をする) (Ring, Ring!) What would you like to order? T : (1人2役又は T2 と役割分担して注文をする) I'd like a large pizza with mushrooms, onions and bacon. You say pizza size and topping. Let's try! Any volunteers? ○○-san, please. T : What would you like to order? S : I'd like a large size pizza with onions and chicken. Thank you.</p>		
9分	<p>【Jingle】 Foods Jingle p.59 (p.79)</p> <ul style="list-style-type: none"> Foods Jingle を聞く。 音に注意しながら文字の名称を言う。 ジングルをみんなで言ったあと、ペアで1つのチャート(児童用テキスト巻末)を使って交代で言う。 <p>【Let's Chant】 What would you like? p.61</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 音に注意しながら文字の名称を言うよう促す。 ジングルをみんなで言ったあと、ペアで1つのチャート(児童用テキスト巻末)を使って交代で言うとき、前回ははじめに言った方と順番を変える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Foods」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 児童の実態により、スピードを選ぶ。 食べ物や家族の呼称を児童に選ばせ、カラオケで実施することで、児童の意欲を高めることも考えられる。 	デジタル教材 児童用テキスト デジタル教材
	<p>What would you like? What would you like? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like grilled fish. I'd like grilled fish. I'd like grilled fish for me, please.</p> <p>How about your father? How about your father? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like beefsteak. I'd like beefsteak. I'd like beefsteak for my father, please.</p> <p>How about your mother? How about your mother? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? Umm ..., I'd like fruits. I'd like fruits for my mother, please.</p>		
9分	<p>【Let's Listen 5】 p.62</p> <ul style="list-style-type: none"> Let's Listen 4 のメニューを再度聞き取り、その値段を聞き取って記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>はな : The happy meal is 690 yen. The healthy meal is 860 yen. The power-up meal is 930 yen. The bento meal is 780 yen.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 最後の活動のモデルとなる値段のやり取りまでを再度聞く。ここでの活動を、この後の店ごとに集まった際に生かせるように、声掛けをしておく。 Happy Menu については、音声は無いが、指導者が値段を決めて言い、聞き取らせて書かせるとよい。 残りの Happy Menu についても指導者が金額を言って聞き取らせ、記入させるとよい。 	デジタル教材

20分	<p>【Activity】 p.64</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の準備をする。 ・グループで客と店員に役割分担をして、注文や値段を尋ねたり答えたりして、必要な食べ物をそろえる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>やり取りの例 (Main dish コーナー)</p> <p>店員: What would you like? Grilled fish, fried chicken or beefsteak?</p> <p>客 : I'd like grilled fish. I'd like grilled fish for my grandfather, please.</p> <p>店員: You'd like grilled fish. It's very delicious and healthy.</p> <p>客 : How much is it?</p> <p>店員: Grilled fish is 850 yen. 850 yen, please.</p> <p>客 : Here you are.</p> <p>店員: Thank you very much. Please enjoy.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の場を設定する。 ・今回と次回を合わせて、メニューをそろえるよう告げる。 ・前半の役割のポジションにつき、準備を促す。 ・途中で活動を止め、好事例をみんなの前で紹介し、後半の活動がよりねらいに沿うようにする。 <p>◎他者に配慮しながら、丁寧な表現を使って注文したり受けたりしている。</p> <p><行動観察・振り返りカード点検></p>	児童用カード (飲食物) ワークシート (Unit 8-2)
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 8—Lesson 7 単元名	What would you like?	料理・値段	7/8時間
目 標	他者に配慮しながら、丁寧な表現を使って注文をしたり受けたりしようとする。 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを推測して読み、書き写すことができる。		
準 備	児童用テキスト、児童用カード(飲食物)、ワークシート (Unit 8-1, 8-2)、店の看板 (Main / Side / Dessert / Drink)、デジタル教材、振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
7分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 【Jingle】 Foods Jingle p.59 (p.79) Foods Jingle を聞く。 音に注意しながら文字の名称を言う。 全員で言ったあと、ペアで1つのチャート (p.79) を使って交代で言う。 【Let's Chant】 What would you like? p.61 チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 音に注意しながら文字の名称を言う。 ジングルをみんなで言ったあと、ペアで1つのチャート (p.79) を使って交代で言う。前回とはペアを変える。 デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Foods」 児童の実態により、スピードや言う内容を選ぶ。 値段の言い方についても併せて復習する。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>What would you like? What would you like? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like grilled fish. I'd like grilled fish. I'd like grilled fish for me, please.</p> <p>How about your father? How about your father? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like beefsteak. I'd like beefsteak. I'd like beefsteak for my father, please.</p> <p>How about your mother? How about your mother? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? Umm ..., I'd like fruits. I'd like fruits for my mother, please.</p>			
15分	<ul style="list-style-type: none"> 【Activity】 p.64 活動の準備をする。 前半の活動を行う。 よいコミュニケーションについて、具体的に共通理解し、後半の活動のめあてをもつ。 役割を交代して後半の活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 前回到続き、活動の場を設定する。 評価の視点や、目指すべき姿を共有する。 前半の役割のポジションにつき、準備を促す。 中間評価をし、よいコミュニケーションについて、具体的に共通理解し、後半の活動を行う。 <p>やり取りの例 (Dessert コーナー)</p> <p>店員: What would you like? Ice cream, fruits, parfait, cake, <i>daiiku</i>?</p> <p>客 : I'd like fruits and cake. I'd like fruits and cake for my grandfather, please.</p> <p>店員: You'd like fruits and cake. Delicious and healthy.</p> <p>客 : How much is it?</p> <p>店員: 500 yen for fruits. Cake is 200 yen, please.</p> <p>客 : Here you are.</p> <p>店員: Thank you very much. Please enjoy.</p>	ワークシート (Unit 8-2) 児童用カード (飲食物) 店の看板 (Main / Side / Dessert / Drink)
20分	<ul style="list-style-type: none"> OLet's Read and Write ② 英語のメニューを見て、情報を読み取り、注文した料理(メインディッシュ・サイドディッシュ・デザート・ドリンク)の単語を選択して書く。 誰のためのどんなメニューにするのかネーミングを考え、料理や飲み物を置く皿やコースターの絵をワークシートに描く。 	<ul style="list-style-type: none"> 誌面 p.66, 67 のメニューを見て、丁寧に書き写すよう言う。 メニューの名前の例を示す。 p.64 や指導者の例を参考に、セット名を考え、書くよう促す。日本語をまじえてもよい。 <p>◎メニュー表の料理名を推測して読んでいる。注文した料理を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (Unit 8-1, 8-2) 児童用テキスト
3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 8—Lesson 8 単元名	What would you like?	料理・値段	8/8時間
目 標	他者に配慮しながら、メニューについてまとまりのある話を聞いたり、感想を伝え合ったりしようとする。		
準 備	児童用テキスト、ワークシート (Unit 8-2)、デジタル教材、デジタル教材、振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
7分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 【Jingle】 Foods Jingle p.59 (p.79) ・ Foods Jingle を聞く。 ・音に注意しながら文字の名称を言う。 ・全員で言ったあと、ペアで1つのチャート (p.79) を使って交代で言う。 【Let's Chant】 What would you like? p.61 ・チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・音に注意しながら文字の名称を言う。 ・ジングルをみんなで言ったあと、ペアで1つのチャート (p.79) を使って交代で言う。前回ははじめに言った方と順番を変える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Foods」 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態により、スピードや言う内容を選ぶ。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>What would you like? What would you like? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like grilled fish. I'd like grilled fish. I'd like grilled fish for me, please.</p> <p>How about your father? How about your father? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like beefsteak. I'd like beefsteak. I'd like beefsteak for my father, please.</p> <p>How about your mother? How about your mother? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? Umm ..., I'd like fruits. I'd like fruits for my mother, please.</p>			
7分	<ul style="list-style-type: none"> 【Let's Listen 4】 p.62 ・再度、登場人物が注文した料理を確認し、それは誰のためにどんな理由で取りそろえたメニューなのかを話している音声を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この音声を再度聞くことにより、この後自分が誰のためにどんな理由で取りそろえたメニューなのかを話す時の参考にできるとよい。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>ウェイター：What would you like? はな：I'd like milk, a beefsteak, French fries, salad, yogurt and bread. This meal is for my brother. He is always very hungry. He is a basketball player. This is perfect for my brother. 答え (It's the power-up meal.)</p> <p>ウェイター：What would you like? はな：I'd like a rice ball, <i>daifuku</i>, fried chicken and <i>gyoza</i>. This is for my sister. <i>Daifuku</i> is my sister's favorite sweet. Fried chicken and <i>gyoza</i> are delicious, too. This is a good meal for my sister. 答え (It's the <i>bento</i> meal.)</p> <p>ウェイター：What would you like? はな：I'd like grilled fish, <i>miso</i> soup, fruits, rice, green tea and salad. This is a good meal for my mother. She is busy. She is sometimes tired. Fruits and salad have lots of vitamins. 答え (It's the healthy meal.)</p>			

23分	<p>○自分の考えたスペシャルメニューについて発表する。</p> <p>・グループになり、誰のためのどんなメニューなのか発表し合う。</p>	<p>・どんな順で発表するのかなどについて、進め方を示す。</p> <p>・発表や感想、質問の際に大切にしたいことや、ルールについて共通理解してから始める。</p>	ワークシート (Unit 8-2)
<p>児童の発表例</p> <p>S1: This menu is for my father. Beefsteak, salad, miso soup, fruits and mineral water. He is always very busy and tired. This is a good menu for my father. Fruits and salad have a lots of vitamins. Beefsteak and <i>miso</i> soup, he can get power. Healthy power up menu. It's 2,640yen.</p> <p>S2: I like beefsteak. It's delicious. S1: Me, too. I like beefsteak.</p> <p>S2: It's a good menu for your father. How old is he? S1: Thank you. He is 45 years old.</p> <p>S3: Fruits and salad are very good. A good healthy menu. What fruits do you like? I like strawberries.</p> <p>S1: I like strawberries, too. I like peaches the best. Thank you.</p>			
<p>・グループの中から代表発表者を決める。代表発表者は、全員の前で発表し、ほかの児童は感想を言ったり質問をしたりする。</p>		<p>・学級の実態に応じた形式で実施するとよい。発表者に指導者自ら感想を言ったり質問をしたりする。また、発表者の内容を受けて、他の児童に質問をしたりする。</p> <p>◎他者に配慮しながら、メニューについて相手の話を聞き、質問したり、感想を伝えたりしている。</p> <p><行動観察・振り返りカード点検></p>	
5分	<p>【STORY TIME】 p.63</p> <p>・絵本の読み聞かせを聞いたり、読んだりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Later in the afternoon.... Maria: Hi, Kazu! Let's play soccer together. We have a great time, but.... Kazu :</p> </div>	<p>・絵本を読み聞かせる際には、一方的に絵本の台詞を読むのではなく、児童と各ページにあるさまざまなイラストや話の筋についてやり取りしながら読むようにする。そうすることで、話の筋についての理解を助けるとともに、児童を絵本の世界に引き込むことができる。</p> <p>・高学年で扱っている絵本のページに記されている台詞は、やがて児童が読み聞かせを聞きながら絵本の台詞を指で追って聞いたり、自分で読むことに挑戦したりすることを想定し、短く単純なものにしている。よって、指導者が台詞以外の言葉を加えながらやり取りを行い、児童の想像を膨らませるようにすることが大切である。</p> <p>・指導者は、ジェスチャーを付け、表情豊かに読む。これらも児童にとっては、話の筋を理解する上で大切な情報源となる。デジタル教材を使って読み聞かせをしてもよい。デジタル教材を使って、あるいは指導者が読んで行う。</p> <p>・Kazuの複雑な気持ちが、but....と表れている。このbut以下を児童と考えたり、MariaとKazuの役に分かれて、Mariaの台詞を読んだ後、児童と考えたKazuの台詞を言うなどの活動も考えられる。</p> <p>・児童を絵本の世界に引き込みながら読み聞かせをしたり、文字を追いつながりながら読ませたりするとよい。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
3分	<p>・本時の活動及び本単元を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時及び単元のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード